

(6) 肢体不自由養護学校(重度・重複)

(様式1)

フェイスシート

(作成日：平成17年 月 日 学年：高等部2年)

● 氏名・住所等

本人	ふりがな	いとう じろう	性別	生年月日	昭和63年 9月 1日生
	氏名	伊藤 二郎	男	電話番号	- -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
	入所施設	○無 ・ 有			
	主障害	肢体不自由	他の障害	知的障害	
	診断名	低酸素脳症による四肢及び体幹の機能障害	療育手帳	(. . 交付)	
	身障手帳	1種 1級 (H3. 4. 1 交付)	精神障害者保健福祉手帳	(. . 交付)	
保護者	氏名	伊藤 五郎	緊急連絡先	自宅	- -
	住所	〒 000 - 0000 市.....			
家族構成	家族構成図		氏名	生年・学年	続柄
	<p>(出生地 札幌市)</p>		伊藤 太郎	S5	祖父
			伊藤 五郎	S30	父
			伊藤 花子	S30	母
			伊藤 一郎	大1	兄
			伊藤 二郎	高2 (本校)	本人(次男)
在籍校	学校名	北海道 養護学校	担当教諭		
	住所	〒 000 - 0000 市.....	電話番号	TEL	- -
			FAX	- -	
		寄宿舎入舎	有 ・ ○無		

● 妊娠・出産・発育の様子

胎生期	妊娠中の母親の健康状態 : (良)・他 妊娠中の病気等 : (無)・有(病名) 薬の服用状況 : (無)・有			・ 妊娠期に気になったこと 特になし	
出生期	妊娠期間	30週	出生体重	2300g	・ 医師の診断や出産時に気になったこと 早期破水、低体重。 医師から運動発達に課題が残るかもしれないと言われた。
	分娩	普通・逆子・鉗子・吸引・帝王切開・他			
	様子	普通・衰弱・(反死)・双子・臍帯てん絡・他			
	泣き方	良好・(他) (A P S)			
乳幼児期	黄疸	普通・(軽)・重	保育器使用	無・有(30日)	・ 乳児期、幼児期に気になったこと 早期から、道立 センター、道 センターを利用し、発達に対する支援を受ける。
	首の座り (歳 か月) はいはい (歳ごろ) 一人歩き (歳 か月) 人見知り (歳ごろ) 指差し (歳 か月ごろ) 片言を言う (歳ごろ) おしっこやうんちを予告する (歳) 一人でおしっこ(歳)・うんち(歳) トレーナーなどの簡単な服を一人で着替える(歳)				

● 療育・教育の状況

幼児期	市母子通園センター		・ 備考(就学の変更等) 中学部1年生の時、病院へ入院のため、養護学校へ転校、退院後、年月に本校に転入。
小学校	北海道 養護学校		
中学校	北海道 養護学校 北海道 養護学校(H年~H年) 北海道 養護学校		
高校	北海道 養護学校		

● 医療にかかわる特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・ 鼻腔による経管栄養を行っている。時間は1時間半程度かかる。(学校では、看護師が行っている) ・ 経口による摂食も練習中であり、学校ではとりみを付けた水分やヨーグルトなどを少量摂取している。 ・ 1時間~1時間半おきの定期的なサクションが必要である。(学校では現在保護者、看護師が行っている) ・ 1日に2~3回、身体全体に緊張が入り、眼球が上転し、上肢がふるえる発作があるが、数秒間でおさまる場合が多い。 ・ 左側頭部にシャントが挿入されている。強い磁波のある場所には注意が必要であるが、日常生活には、特に差し支えない。 ・ 側わんがあり、日中のみコルセットを使用している。

● 特記すべき生育歴及びその他の事項

--

身体と健康の情報

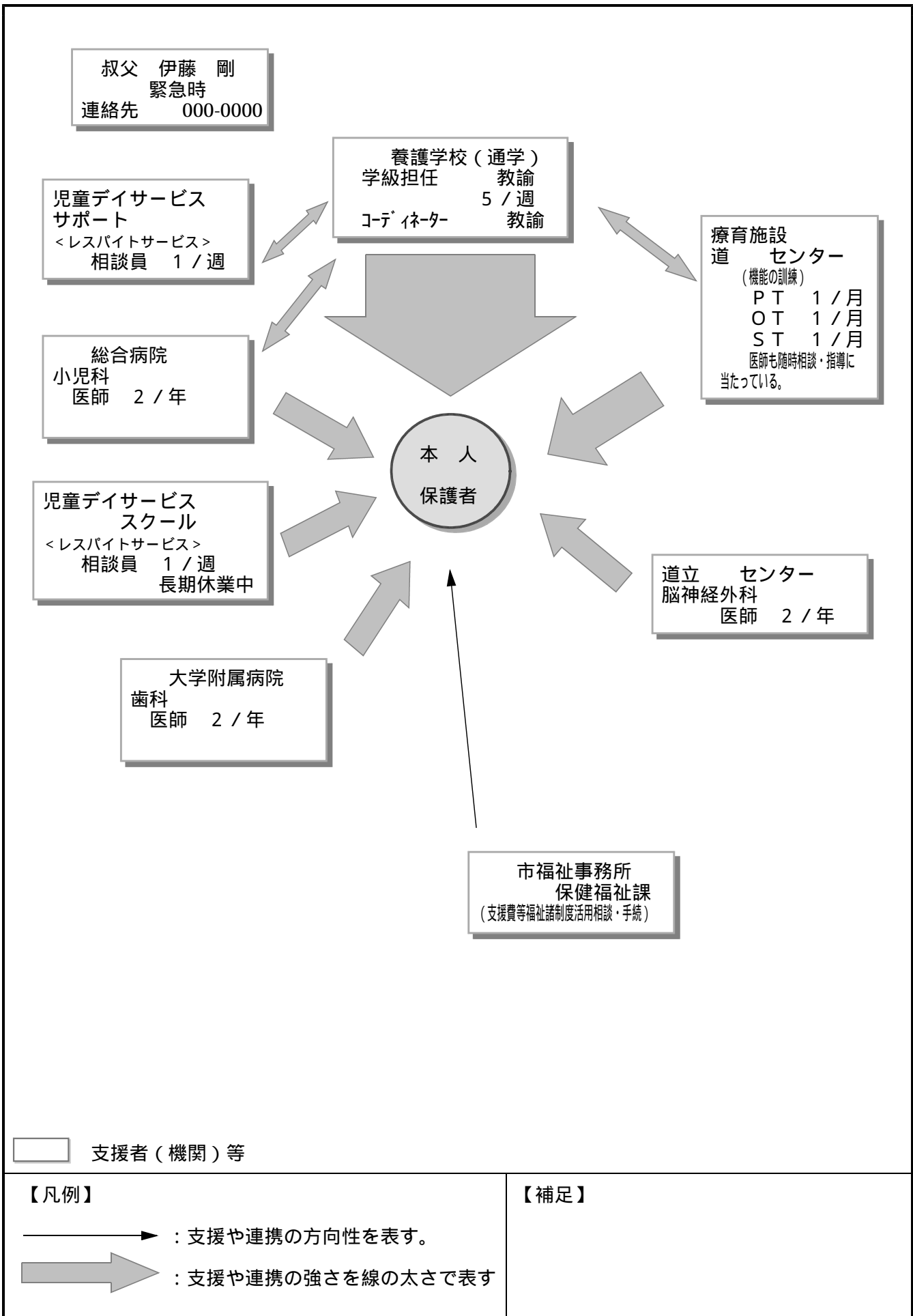
作成日 年 月 日

<p>障害部位と状況 (手術・脱臼・変形・萎縮・麻痺・感覚)</p> <p>S字側わん</p> <p>四肢まひ</p> <p>亜脱臼 (両股関節)</p> <p>拘縮 (両足首)</p>	<p>身長 130 cm 体重 30 kg 血液型 A・B・O・AB ・その他 血圧、酸素飽和度など</p> <p>発作 1日平均2～3回 過去の3年間の発作 なし・あり (最終年 年) 状況・対応 寝起き等におきやすい、すぐに横にさせる</p> <p>服薬 抗けいれん剤 (服薬方法) 薬品名 便秘薬 (服薬方法) 薬品名</p> <p>その他 睡眠薬使用 アレルギー 食物アレルギー (たまご) 薬のアレルギー ()</p>
<p>健康上・生活上の留意点 (緊急対応) 発作が長時間または重積する場合は、家庭と医師に連絡する。</p>	<p>疾患等 喘息・肝炎等・</p> <p>その他 シャント (装着年 平成3年) 導尿 排痰 あり 吸引・吸入 あり 呼吸障害 あり 睡眠の傾向 浅い眠り その他</p> <p style="text-align: right;">必要な項目のみ記入</p>
<p>補助的機器</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介助用車いす【車いす型・シーティングバギー・その他 ()】《作成 年》 ・自走式車いす【普通 (普通・片手)・アクティブ (普通・片手)・電動・その他 ()】《作成 年》 ・座位保持いす【木フレーム・金属フレーム・その他 ()】《作成 年》 ・座位保持装置【prone・supine・standing・その他 ()】《作成 年》 ・歩行車【SRC・PCW・U字型・L字型・その他 ()】《作成 年》 ・膝立位装置【膝立位ボード・ライダーチェア】《作成 年》 ・靴【オルソシューズ・シューホン・SLB (皮支柱・プラスチック・その他)・LLB・骨盤帯付LLB・オーバーシューズ】 《作成 年》 ・机【普通・カット式天板・その他 ()】《作成 年》 ・その他 	

● 特徴

得意なこと、好きなこと、興味・関心の強いこと	<ul style="list-style-type: none"> 歌や音楽を好み、歌いかけたり音楽を聞かせたりすると、笑顔になったり、手足を動かして喜ぶ。周囲の音をよく聞いており、人の声やおもしろい音を聞き分けて笑うことが多い。 トランポリンやシーツブランコなど、体全体を大きく揺らされる遊びを好む。
苦手なこと、嫌いなこと、避けなければならぬこと	<ul style="list-style-type: none"> 手指に若干の過敏性があり、物を触り続けたりすることや、べたべたした触感の物などには、手を引くことが多い。 初めての人や場所では、体に緊張が入ることが多い。
身体・健康	<ul style="list-style-type: none"> 四肢にまひがあり、日常生活は全介助。 定期的なサクションと経管栄養が必要であるが、当面、母親と看護師が実施することとしており、今後、母親に代わって担任と看護師、養護教諭が対応していく予定である。 発作や呼吸障害があるため、家庭と連携した日常的な健康観察が必要である。 体温調節ができないため、水分補給や衣服の調節に配慮が必要である。
人とかかわり・集団参加	<ul style="list-style-type: none"> 好きなことには笑ったり、声を出すなど、働きかけに応じて表情の変化や発声がみられる。 言葉掛けに対して、口をあけたり発声することで「はい」の意思表示をしたり、2つの具体物やカードを提示すると、やりたいものの方を見たりすることが、少しずつできるようになってきている。 そばに慣れている人がいたり、慣れている場所であれば、いろいろな活動にかかわろうとすることができる。
身体の動き	<ul style="list-style-type: none"> 四肢にまひがあり、自力での移動は困難であるが、うつ伏せで、上半身を動かして右回りに若干体を動かすことができる。 日常的には工房バギーを使用。 座位姿勢を自力で数秒間保つことができるようになってきている。
興味・関心・意欲	<ul style="list-style-type: none"> 音楽や身体を動かしての遊びを好む。 絵本などの読み聞かせには、じっと聞いていることが多い。 友達が行っている活動を見ると、身体を動かし自分もやろうとする様子がみられる。

● 支援マップ



(様式2)

週間生活スケジュール

氏名(伊藤 二郎)

時間 \ 曜日	月	火	水	木	金	土	日
:							
6:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き	朝食・歯磨き
8:00	学校	学校	学校	学校	学校		
10:00						サポート	
12:00							
14:00			スクール			自宅	自宅
16:00	自宅	自宅		自宅	自宅		
		入浴 サポート			入浴 サポート		
18:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
20:00	入浴・歯磨き	歯磨き	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き	歯磨き	入浴・歯磨き	入浴・歯磨き
	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝
22:00							
24:00							
:							

週・月・年単位など定期的なスケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年2回、総合病院でサクシオンや経管栄養に対する定期的な診察を受けている。 ・ 年2回、北海道立センターで脳波検査を受けている。 ・ 年2回、大学附属病院で摂食指導を受けている。 ・ 毎週水曜日の放課後は、スクールでディサービス、毎週土曜日は、地域のサポートで一日デイサービスを利用し、外出している。 ・ 長期休業中はサマースクールへの参加やショートステイのサービスを受けている。 ・ 月1回、北海道センターのPT、OT、STに訓練を受けている。
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

その他	特になし
-----	------

(様式3)

個別の教育支援計画

氏名	伊藤 二郎	性別	男	学校名	北海道 養護学校
作成者	担任	作成日	平成 年 月 日 (. . 修正)		

● 本人・保護者の希望

	現在の希望	将来の希望
本人	<ul style="list-style-type: none">好きなことや好きな人を増やしたい。いろいろなことにチャレンジしてみたい。 (保護者代筆による)	<ul style="list-style-type: none">たくさんの人とかかわりながら、地域で暮らしていきたい。いろいろなところに旅行へ行ってみたい。 (保護者代筆による)
保護者	将来、親元から離れて生活することができるよう、人とかかわる力(特にコミュニケーションの力)を育ててほしい。	将来的には、地域のデイサービスや施設でのサービスを併用して利用していきたい。また、グループホームの利用も考えていきたい。

● 課題の設定の理由

本生徒は、身近な人とかかわりや物を介したかかわりの中で、表情の変化や声を出すなどして、意思をあらわすことができる。しかし、現在は周囲の者が気持を読み取ってかかわりを行っていることが中心であり、身体の動きが少ないことも考え合わせると、今後、本生徒が地域でいくつかの支援を受けながら、様々な人と生活する力を身に付けていくためには、だれに対してもわかりやすい意思表示の手段を増やしていくことが大切である。

また、将来のグループホームでの暮らしや余暇活動のひろがりを見通して、様々な場所や人との活動を楽しめるようにするために、生活経験の拡大が必要と考えられる。

これらのことから、以下の課題を設定する。

● 課題・支援の目標

	課 題	支 援 の 目 標 (長 期)
	卒業後の生活の充実のために、自分の意思を相手に伝えられるようにするためのいくつかの手段をもつことが必要である。	音声代替装置やカード、視線を使ったコミュニケーションボードなどで自分の意思を伝えることができる手段を増やす。
	卒業後の生活に向けて、様々な人と様々な場面での活動をリラックスして楽しめるよう経験の拡大が必要である。	生活場面で、様々な人とのかかわりを楽しみ、興味の幅を広げ、楽しめる活動を増やす。
	より能動的な活動を促すために、手や身体をたくさん動かし、手指の作業に慣れることが必要である。	手や身体を積極的に動かそうとする気持ちを育む。
	評	価

● 支援内容・機関等

支援の目標(短期)	支援内容	支援機関・連絡先	評価時期	評価
2つの具体物やカードからやりたいものを選択する。	<ul style="list-style-type: none"> 本人の意思がはっきりわかる選択肢から始め、見たもので活動することを繰り返す。 イエス、ノーなど、意思を明確に表した時には、即時に対応できるようにする。 	養護学校 担当 担任 ☎ - ----- 療育施設 北海道 センター 担当 ST ☎ -	学校の評価時期 3月に合わせて行う。 支援会議	
	<ul style="list-style-type: none"> デイサービスで、様々な活動(入浴、散歩、買い物、外食等)を行うなかで、イエス、ノーの意思表示ができる機会を設ける。 *目標と関連 	児童デイサービス スクール(水) 担当 ☎ -	適宜、活動内状況を相談しながら行う。 支援会議	
		児童デイサービス サポート(土) 担当 看護師 ☎ -	適宜、活動内状況を相談しながら行う。 支援会議	
担任以外の教師や新しい場所での活動を楽しめる場面を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> 初めは担任と一緒に活動をし、様子を見て少しずつ離れていくようにする。 	養護学校 担当 担任 看護師 ☎ -	学校の評価時期 の3月に合わせて行う。 支援会議	
	<ul style="list-style-type: none"> 一緒に活動をしたい教師ややりたい活動を本人が選ぶようにする。 新しい人や場所での活動時には、事前に疑似体験等を取り入れた活動を設定するなど、事前の情報提供を行う。 	養護学校 担当 担任 看護師 ☎ -	適宜、活動内状況を相談しながら行う。 支援会議	
		児童デイサービス サポート 担当 看護師 ☎ -		
手で触ってみることができる活動を増やす。	<ul style="list-style-type: none"> 好きな音楽活動の中でいろいろな楽器を触って音を出す。 	養護学校 担当 担任 ☎ -	学校の評価時期の 3月に合わせて行う。 支援会議	
	<ul style="list-style-type: none"> 興味をもてた活動の中で活用した教材を中心に、短時間ずつ触る活動を取り入れ、その回数を増やしていく。 	療育施設 北海道 センター 担当 OT ☎ -	支援会議 訓練時	
	<ul style="list-style-type: none"> 座位姿勢での体幹の安定を図る。 	療育施設 北海道 センター 担当 PT ☎ -	支援会議 訓練時	

● 支援者(機関)の連携

項目(会議等) 期 日	連携機関(担当者) コーディネーター	内 容	備 考
個別の教育支援計画の策定会議(支援会議)	保護者、担任、寄宿舎指導員、看護師、児童デイサービス スクール担当、児童デイサービス サポート担当、看護師、総合病院担当 医師、道センター担当 PT、OT、ST	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な支援内容の確認 ・ 個別の教育支援計画について(目標設定等) ・ 評価時期等の確認 ・ 支援者同士の連絡方法について 	半年後に設定した目標について評価の会議(支援会議)を行うことを確認した。
平成17年5月1日	コーディネーター		

(様式4)

相談・支援の記録

氏名(伊藤 二郎)

項目	時期・期間	内容・結果	担当
相談・支援機関等 医療的ケアや健康面全般について 総合病院小児科	昭和63年～ 現在まで	・ 健康状態についての診断と医療的ケアの状況についての助言を受ける。	主治医 医師
発作、シャントについて 道立 センター 脳神経外科	昭和64年8月 ～現在まで	・ シャント挿入のため手術する。(経過観察) ・ 発作の状態と投薬についての相談及び定期的な脳波検査を受ける。	執刀医 医師
摂食訓練について 大学附属病院歯科	平成13年～ 現在まで	・ 経口栄養における機能訓練及び摂食に対する助言を受ける。	主治医 医師
福祉制度相談 市福祉事務所 保健福祉課	平成2年4月	・ 福祉制度利用の相談をする。	福祉係
療育について 北海道 センター	平成2年6月～ 8月	・ 体幹機能訓練のため母子入院をする。	担当医 医師
就学相談 市教育委員会	平成6年	・ 就学の場について相談。養護学校が本人にとって最適と助言を受ける。	市 教委
体幹機能訓練、手指機能訓練、言語訓練 北海道 センター	平成6年～ 現在まで	・ 体幹機能訓練、手指機能訓練、言語訓練を、継続的に受けている。	P T O T S T
養育相談 児童デイサービス サポート	平成15年～ 現在まで	・ 福祉制度利用の相談にかかわる相談や今後の本人の生活について相談している。(随時)	指導員
養育相談 児童デイサービス スクール	平成15年～ 現在まで	・ 福祉制度利用の相談にかかわる相談や今後の本人の生活について相談している。(随時)	指導員

* 相談・支援機関等：相談、治療、訓練、診断、生活支援等の機関などの活用歴